

今年の正月 3 が日

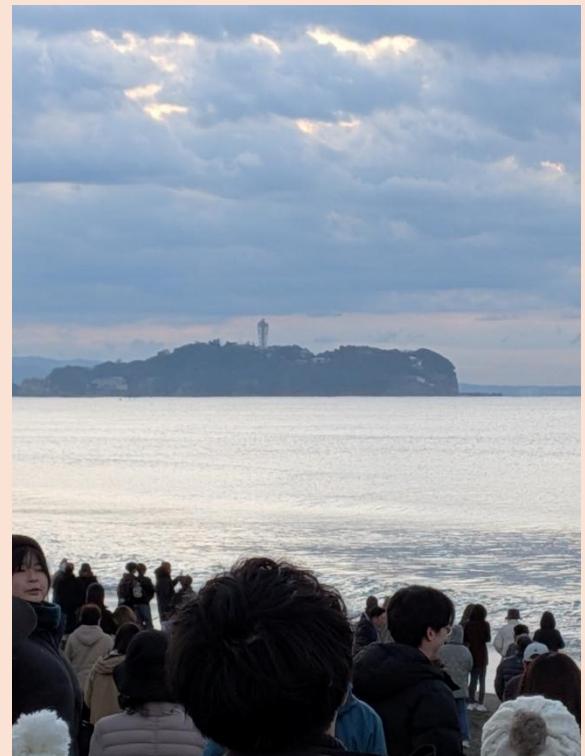
野口幹夫

毎年訪れてくる正月 同じようで違う。独特の 2026 年正月をそれなりに健康で過ごせたことは幸いだった。いいことも失敗もあったが貴重なので書き留めておきたい。

まず初日の出が不遇だった。毎年ラジオ体操の会場が、元旦だけは、初日の出を見る群衆に押し寄せられて、海岸から避けた場所に移ってや

っていたのが 今年はそこが工事車両でふさがれたのでできず、元旦は中止となった。やむを得ず海岸への途中の公園で個人でラジオ体操をして、終わってから、ちょうど日の出時刻になるので海岸に行った。(ラジオ体操にこだわるのはこれが自分の健康の支えと思っているからだ)

毎年のごとく海岸は群衆で埋まっている。やがて 6 時 54 分江の島の頂上が赤く染まるはずだが今



年はそれもない。厚い雲に覆われてもピカリと光の線は走るのだが、今年はそれもダメだった。大群衆は 10 分後失望しながら、ぞろぞろと引き上げた。

元旦は 子供と孫たち、10 人前後で盛大にすき焼きパーティをするが、今年は孫の一人が結婚相手を連れてきてくれた、5 人の孫の中の結婚一番手であった。孫達 5 名は皆 適齢期を迎えており、世間の風潮と同じくその兆しがみえなかつたので、1 番手を開いてくれた

のでうれしかった。いい青年ですぐこの輪に溶け込んでくれた。

毎年自分は正月の和風気分を盛り上げるため、和服を着るのだが、今年はそんな重大事件があったので着物を着る発想が出なかった。毎年角帯を締める一苦労があるのだが、それからは解放された。

元旦 11 時は茅ヶ崎教会の元旦ミサがある。今年は聖

堂が 10 数年ぶりに改裝され、荘厳な美しさが戻った。

やはり形は宗教的雰囲気が醸しだす大切な要素だと
思った。

2 日と 3 日は箱根駅伝の選手応援だ。私が毎年応援に

出かけるここ浜須賀陸橋は、それまでの長い街路コースから、一転して正面に富士が見え、
左が湘南海岸という平坦な景勝地への転換ポイントだ。第 2 区の権太坂、第 3 区の戸塚の壁
を過ごして、往路優勝集団が 2~3 名に絞られてくるタイミングだ。

彼らを見送って 11 時。あとはテレビで箱根の山頂踏破をテレビで見守る。今年はきわどい勝負で青山学院大学が早稲田を縫いて往路優勝し、その勢いをキープして新記録で総合優勝をした。

今年のお正月も無事終わった。あとは沢山作ったお祝箸を近くの神社の 14 日のとんど焼きにもっていって燃やし終りとなった。

